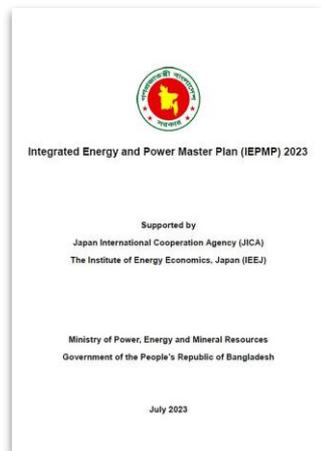




## Campaign for Just & Equitable Transition in Bangladesh



なぜ**バングラデシュ**の市民社会はJICAが提案するエネルギー「**脱炭素化**」計画に異議を唱えているのか？

**Hasan Mehedi**

Coastal Livelihood and Environmental Action Network (CLEAN)

## 日本とバングラデシュ

日本はバングラデシュにとって最大の二国間パートナーであり、過去50年に農業、教育、エネルギー、保健、運輸、貿易などの分野で238億米ドルを供与した。

2021年3月14日、国際協力機構 (JICA) とバングラデシュ政府エネルギー・鉱物資源部門 (EMRD) は、統合エネルギー・電力マスタープラン (IEPMP) の策定に関する協定に調印した。

## IEPMPの目標

エネルギー安全保障及び経済合理性の確保を前提に、低炭素/ゼロ・カーボンのエネルギー需給システムを構築すること。

## 目的

バングラデシュの持続可能な発展に向け、低炭素/カーボンニュートラル社会のための政策と技術を導入し、エネルギー安全保障及び経済合理性を備えた低/ゼロ炭素のエネルギー需給システムを確立すること。

## 国のオーナーシップ

バングラデシュ政府ではなく、JICAが、被援助国の参加なしに、日本のエネルギー経済研究所 (IEEJ) を IEPMPを策定するコンサルタントとして任命した。これは国のオーナーシップポリシーに違反している。

## 透明性

JICAは事業の実際の予算を一度も公表していない。市民社会がIEPMPの策定予算を開示するよう要求した時でさえ、JICAは沈黙を保った。これは、透明性と説明責任という基本的な規範に反している。

## 参加者

JICA及びIEEJは、IEPMP策定のプロセスに47名の専門家を参加させたが、全員が日本人であり、バングラデシュ人は1人も参加していない。IEPMPには、策定のプロセスにバングラデシュ人が参加したと記載されているが、文中に名前が記載されていない。

## 報復リスク

私たちは、報復リスクがあるため、市民社会に限られた協議会を開催するよう何度も要請した。しかし、JICAは私たちの要請を拒否し、前大臣及び首相のエネルギー・アドバイザーを同会議に招待したため、私たちは会議中に従順にならざるを得なかった。

IEPMPは、GDP予測に基づき、2050年までに電力需要が72GW（108GW）に達する可能性がある」と試算した。しかし、現在の需要ペースでは、最大でも56GWになる見込みである。

例：IEPMPは、2025年までに43GWの発電容量を見込んでいた。しかし、2024年の最大需要は16.7GWに過ぎず、2025年には18GWになる見込みである。現在の電力セクターの設備容量は27.8GWであり、需要の60%以上が

設備過剰である。バングラデシュ政府がIEPMPに従えば、設備過剰率は今年中に需要の140%に達する恐れがある。

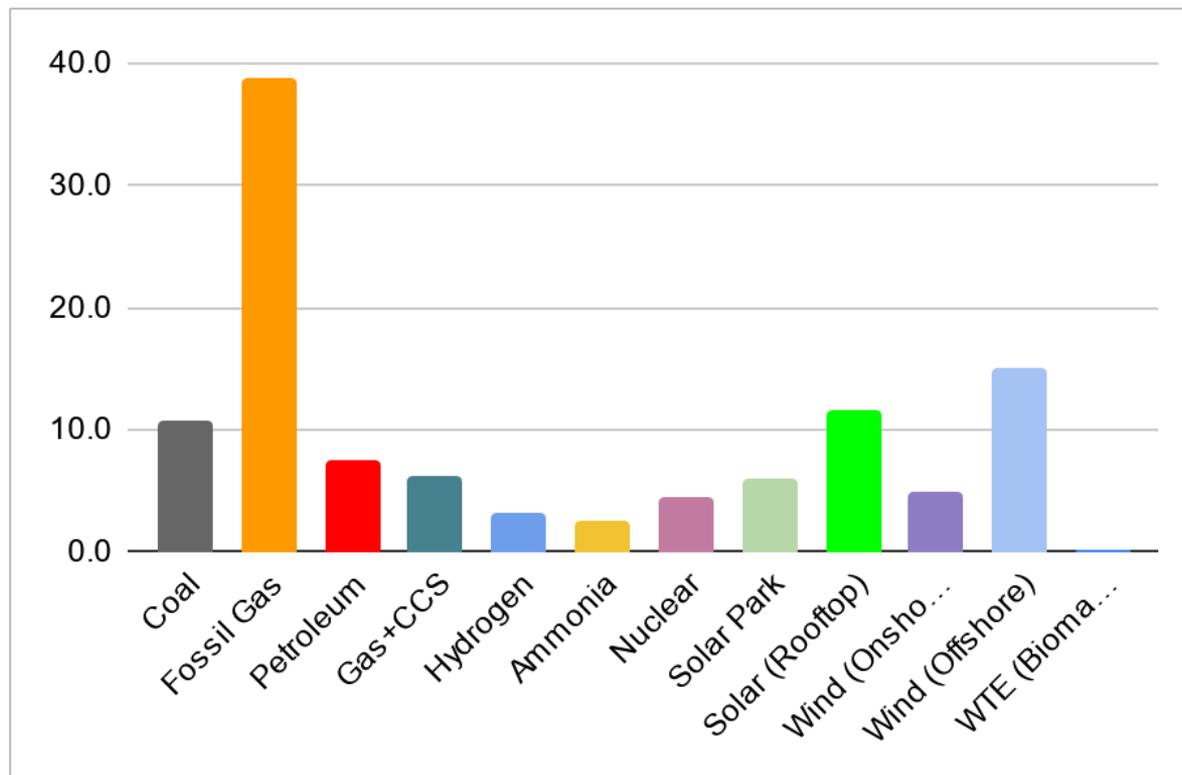
## 将来のリスク

今後、バングラデシュ政府がIEPMPに従えば、2050年までに設備過剰及び座礁資産は100%に達し、政府は稼働していない発電所への容量支払いに年間100億米ドル程度支払う可能性がある。容量支払いは米ドルで行われるため、バングラデシュの外貨準備

と経済に深刻な影響を与える可能性がある。

# 化石燃料まみれの計画

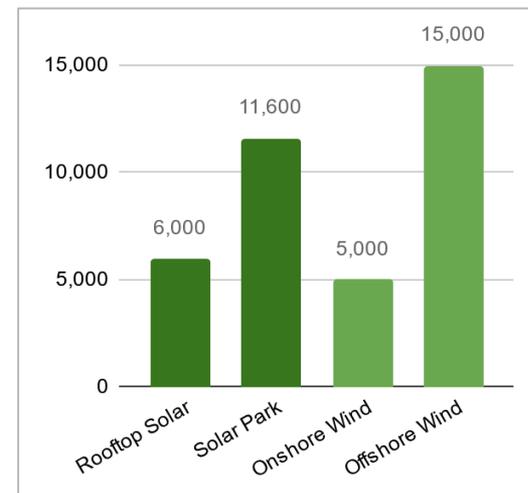
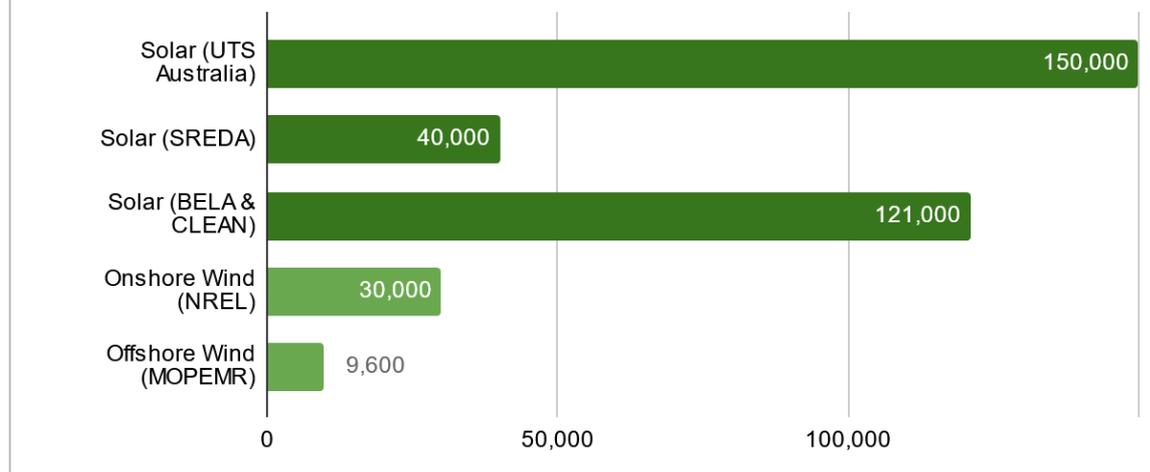
IEPMPは、2050年までにガス（LNG）30%、石炭30%の電力構成を提案しているが、これはパリ協定や Bangladesh の脱炭素目標と矛盾している。現在、Bangladesh は発電用化石燃料の輸入のみに60億米ドルを費やしている。化石燃料の追加輸入は Bangladesh のキャパシティを超えている。



# 再生可能エネルギーの容量の過小評価

Bangladeshには、2050年までに100%の再生可能エネルギー、特に太陽光発電及び風力発電を確保するために十分なスペースと可能性があることが、太陽光発電導入計画（National Solar Energy Roadmap）や様々な研究によって照明されている。

しかし、IEPMPは、2050年までに太陽光発電を**17.6GW**、風力発電を**20GW**しか導入しないシナリオを提案している。これは2050年の総設備容量のわずか13%に過ぎず、Bangladeshのキャパシティを過小評価しており、パリ協定との整合性を保っていない。





IEPMPは、エネルギー部門からの炭素排出量を削減するために、原子力、廃棄物発電（WTE）に加えて、[炭素回収・貯留システム（CCS）](#)、[液化水素](#)、[アンモニア](#)を「先進技術」の名で含めることを提案している。

これらの技術は、排出削減の役割を果たさず、むしろ排出量を増加させるケースもあるため、[「誤った解決策」として広く知られている](#)。

また、IEPMPは[2025年までにバングラデシュに水素燃焼システムを導入すること](#)を提案している。バングラデシュには現在、液体水素の供給源を持っておらず、完全に輸入に頼ることになるため、国家経済をさらに逼迫する原因になり得る。

これらの技術の固定費は非常に高いが、JICAは予算の中で固定費を無視している。

# Bangladesh 国家計画との矛盾

Bangladesh 憲法第18条

(A) は、現在及び将来の世代のために、環境と生物多様性の保護と改善を定めている。それに伴い、ムジブ気候繁栄計画2021 (MCP) は、再生可能エネルギーの導入率を2030年までに30%、2041までに40%、2050年までに100%にすることを約束している。

国連気候変動枠組条約

(UNFCCC) のCOP26における Bangladesh の声明でも、2041年までに再生可能エネ

ルギーを40%まで導入することが約束された。

2016年、 Bangladesh は気候脆弱性フォーラム (CVF) において、2050年までに再生可能エネルギー100%を達成することを約束した。

今回の暫定政府における環境・森林・気候変動省

(MOEFCC) の顧問も、同様の目標を実施することを宣言した。

政策目標及び国際的なコミットメントに基づくと、IEPMP

は、 Bangladesh の基本的な法律及び多国間協定の全てに違反している。

## Why the energy and power master plan must be reviewed



## Integrated Power Master Plan economically unviable: Speakers

*The plan has been designed to ensure benefits for Japanese companies*

Home » Country » Draft energy master plan ignores key issues: experts

### Draft energy master plan ignores key issues: experts

Staff Correspondent 10 September, 2022, 00:55

**Why Integrated Energy and Power Master Plan should not be reconsidered**

**DRAFT INTEGRATED ENERGY AND POWER MASTER PLAN (IEPMP)**  
Can it address the clean energy targets?

**Demands immediate cancellation of fossil fuel-centric energy master plan**

UNB NEWS DHAKA PUBLISH- JANUARY 27, 2025, 07:29 PM UNB NEWS

**Bangladesh's energy plan faces gas dilemma as fuel crisis bites**

**'The IEPMP serves Japan's interest over Bangladesh'**

### Bangladesh's IEPMP Raises More Questions than It Answers

Shafiqul Alam



**Shafiqul Alam** is Lead Energy Analyst for Bangladesh at the Institute for Energy Economics and Financial Analysis (IEEFA)

With varying directions from different energy policies,

Figure 1: Future Gas Outlook for Captive Power Generators



Bangladesh / Power & Energy

## Japanese influence over Bangladesh's Power Master Plan scrutinized at energy prosperity conference

An integrated power master plan is designed to maximize the profit of Japanese companies

# 市民運動



## 請願（WRIT PETITION）の申し立て

市民社会の全ての要請、訴え、市民運動が無視されたことから、Bangladesh Working Group on Ecology and Development (BWGED) 及びそのメンバーから構成された Lawyers for Energy, Environment and Development (LEED) は、バングラデシュ最高裁判所高等法院部に請願 (Writ Petition) を申し立てた。

8ヶ月に及ぶ審理の末、裁判所は、この件に関する執行停

止命令を下し、裁判所は政府に対し、なぜIEPMPが違法とされないのか、市民社会と協議して見直すよう命じられないのかを問う公開質問状を出した。



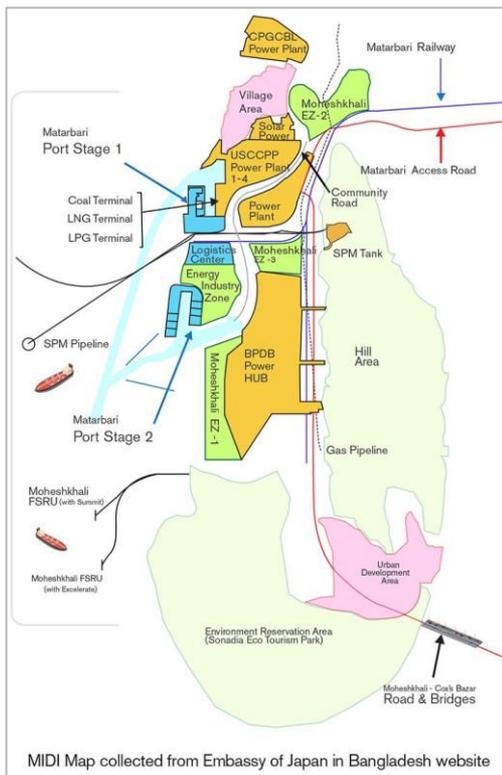
### 政策者の反応

電力エネルギー鉱物資源局の Fouzul Kabir Khan 顧問と JICA

の市口知英氏は、第2回 Bangladesh Energy Prosperity 2050 (BEP2050) 会議に参加し、IEPMPを直ちに見直すべきとの意見で一致した。市口氏は、バングラデシュにはエネルギーマスタープランを策定する能力があるため、日本は今後計画の策定を支援しないと述べた。私たちは以前からそう訴えてきた。



# MIDI: 化石燃料をさらに押し進める



JICAはまた、 Bangladesh のモヘシュカリア・マタバリ統合的インフラ開発イニシアティブ統合開発計画（MIDI）を策定している。

JICAはこの電力ハブに太陽光発電を備えた輸入LNG発電所を設置することを提案した。

日本にとってこれは自殺行為だ。輸入石炭やLNGのコストによって電力価格が上昇すれば、人々は代替電源を模索するからである。

マーケットボラティリティの影響を受け、 Bangladesh 政府は昨年10ヶ月もの間、スポット市場からLNGを購入できなかった。輸入石炭やLNGに依存しているため、発電コストも年々上昇している。

この場合、代替案は屋上太陽光かもしれない。そのため、JICAがMIDIの地域にLNGの導入を提案した場合、エネルギー市場に中国の影響が及ぶリスクがある。

1.  Bangladeshで化石燃料（石炭やLNG）を推進するのを中止すること。  
化石燃料の推進はパリ協定や国の経済的利益に反する。
2. Bangladeshは、炭素回収・貯留システム（CCS）、アンモニア（混焼）、水素といった「先進技術」を必要としておらず、それらを購入する経済的余裕もない。
3. 地球上の人類を救うため、Bangladeshの長期目標に沿って2050年までに再生可能エネルギー100%を達成するため、資金と技術でBangladeshを支援すること。
4. 市民社会やコミュニティが、日本政府に直接意見を述べるができるよう、予算やその他の情報をタイムリーに開示すること。
5. 報復や政治的影響を恐れることなく、各コミュニティや市民社会のメンバーが参加できるよう確保すること。
6. Bangladesh、そして世界中の非民主的で抑圧的な政府への支援を中止すること。

# ACRONYMS

BWGED	Bangladesh Working Group on Ecology and Development	MCPP	Mujib Climate Prosperity Plan
CCS	Carbon Capture and Storage	MIDI	Moheshkhali-Matarbari Integrated Infrastructure Development Initiative
COP	Conference of Parties	MOEFCC	Ministry of Environment, Forest and Climate Change
CVF	Climate Vulnerable Forum	MOPEMR	Ministry of Power, Energy and Mineral Resources
EMRD	Energy and Mineral Resources Division	RE	Renewable Energy
GOB	Government of Japan	UNFCCC	United Nations Framework Convention on Climate Change
IEEJ	Institute of Energy Economics, Japan	WTE	Waste-to-Energy
IEPMP	Integrated Energy and Power Master Plan		
JICA	Japan International Cooperation Agency		
LEED	Lawyers for Energy, Environment and Development		
LNG	Liquefied Natural Gas		

# REFERENCES

Alam, S. (2024). "[Bangladesh's IEPMP raises more questions than it answers](#)". SANEM Energy Outlook: 4 October 2024

Biswas et al. (2024). "[Cancel the Integrated Energy and Power Master Plan \(IEPMP\)](#)". Coastal Livelihood and Environmental Action Network (CLEAN): November 2024

Chowdhury, S.A. & Aziz, S. (2024). "[Why the energy and power master plan must be reviewed](#)". The Daily Star: 27 December 2024

CLEAN (2023). "[Cancel the Integrated Energy and Power Sector Master Plan \(IEPMP\)](#)". Coastal Livelihood and Environmental Action Network (CLEAN): May 2023

Daily Sun (2024). "[Integrated Power Master Plan economically unviable: Speakers](#)". The Daily Sun: 12 December 2024

DT (2024). "[Japanese influence over Bangladesh's Power Master Plan scrutinized at energy prosperity conference](#)". The Dhaka Tribune (DT): 12 December 2024

FFGJ (2023). "[Briefing Paper: JICA supported energy master plan in Bangladesh, soaked in fossil fuels and not aligned with the Paris Agreement](#)". Fair Finance Guide Japan (FFGJ): 5 October 2023

Gupta, T.D. (2023). "[Is the energy demand forecast for 2021-41 based on the wrong premise?](#)". The Business Standard: 9 December 2023

## REFERENCES

- JICA (2021). [Outline of the Project: the Integrated Energy and Power Master Plan Project in Bangladesh](#). Japan International Cooperation Agency (JICA): March 2021
- JICA (2023). [MIDI Strategic Vision Development and Economic Impact Analysis](#). MIDI Cell, Prime Ministers Office (PMO) and JICA: March 2023
- Moazzem, et al. (2023). [“Draft IEPMP: Can it address the clean energy targets?”](#) Centre for Policy Dialogue (CPD): June 2023
- Moazzem, K.G. & Preoty, H.M. (2024). [“Bangladesh's Energy Backtrack”](#). The Daily Star: 6 March 2024
- MOPEMR (2023). [Integrated Energy and Power Master Plan \(July 2023\)](#). Ministry of Power, Energy and Mineral Resources (MOPEMR): 27
- New Age (2022). [“Draft energy master plan ignores key issues: experts”](#). The New Age: 10 September 2022
- Rob, R. (2023). [“The IEPMP serves Japan’s interest over Bangladesh”](#). The Daily Star: 8 June 2023
- UNB (2024). [“Writ petition filed against integrated energy and power master plan seeking climate justice”](#). United News Bangladesh (UNB): 4 December 2024



+88 02 477 701 458

[info@cleanbd.org](mailto:info@cleanbd.org)

<https://www.cleanbd.org>

# THANK YOU

Your comments,  
opinions and queries are  
highly solicited.